BUILDER ブートによるドライブ文字 消失時の復旧手順書 第一版

本手順書は、BUILDER ブートによりデータディスクのドライブ文字が 消失したときの復旧手順について記載しています。

第1版 2009年4月

【背景】

モジュール#0をプライマリとして、EXPRESSBUILDERよりブート後 OS Installationを選択した際、 その後モジュール#1をプライマリとして起動するとDドライブ等のデータパーティションのドライブ 文字が消失する現象が発生します。

モジュール#0をプライマリとして記載していますが、モジュール#1がプライマリの場合には 読み替えていただけるようお願いします。

【復旧手順】

本手順書は、モジュール#0 から EXPRESSBUILDER ブートし、OS Installation の選択後、OS イ ンストールを行なわずに FT サーバの再起動を行なった環境を想定しています。また OS Installation 選択後の再起動において、WDT 発生によりプライマリモジュールの入れ替わりが発生 することがあります。その際の復旧手順について別々に記載します。

[EXPRESSBUILDER ブート後、モジュール#0より起動]

 現在ドライブ文字は削除されていませんが、モジュール#1をプライマリとして起動することで 現象が発生します。そのため、モジュール#0のディスクを元にモジュール#1のディスクへ RDR より再ミラーを行ないます。RDR Utility 起動後、PCI module 1 - slot1 - Disk (Harddisk0-LUN%1-PLEX%2)を右クリックし、"Resynchronize This Physical Disk From RDR Virtual Disk"を実行してください。



 ディスクの再同期が始まります。Logical Disk Information - RDR Virtual Disk %1 より再同期が 行なわれていることを確認してください。同期処理の進行状況は、左画面の"RDR Virtual Disk %1"をクリックすることで、右画面に表示される"ステータス"の項目から確認できます。



[EXPRESSBUILDER ブート後、モジュール#1より起動]

1. コンピュータの管理 - ディスクの管理画面よりドライブ文字を再割り当てします。

品コンピュータの管理									
🗐 ファイル(E) 操作(<u>A</u>) 表示(V)	ウィンドウ(型) へいう	(H)						_ 8 ×	
📃 コンピュータの管理 (ローカル)	ボリューム レイ)	Pウト 種類	ファイル システム	状態	容量	空き領域	空き領域	の割合フ:	
直 🌇 システム ツール	- K-	ティション ベーシック		正常	1.00 GB	1.00 GB	100 %	<u>ເ</u>	
🖻 🗐 イベント ビューア	(C:) /(−	ティション ベーシック	NTFS	正常 システム)	12.00 GB	6.92 GB	57 %	сı С	
由 👰 共有フォルダ									
□ 🔐 🌆 ローカル ユーザーとグループ									
□ 一般 バフォーマンス ロクと警告									
□ ■ 記憶気 □ ● ● リムーバブル記憶域									
·····································									
ディスクの管理	•							•	
🗄 🎲 ザービスとアプリケーション		1	1						
-	🐼 ም ም ም ን በ 🖓								
	68.35 GB	(C:) 1200 GB NTES	ļ,	100.68	55.35	GB			
	オンライン	正常 システム		正常 ////////////////////////////////////	未割	n 🛛 T			
	🔄 CD-ROM ()			/				

 モジュール#1 側のドライブ文字を割り当てることでモジュール#0 側のドライブ文字が消失 する現象が発生します。そのため、モジュール#1のディスクを元にモジュール#0のディスク へ RDR より再ミラーを行ないます。RDR Utility 起動後、PCI module 0 - slot1 - Disk (Harddisk0-LUN%1-PLEX%2) を右クリックし、"Resynchronize This Physical Disk From RDR Virtual Disk"を実行してください。



 ディスクの再同期が始まります。Logical Disk Information - RDR Virtual Disk %1 より再同期が 行なわれていることを確認してください。同期処理の進行状況は、左画面の"RDR Virtual Disk %1"をクリックすることで、右画面に表示される"ステータス"の項目から確認できます。

🗿 RDR_Utility_(ft-SW : 5.2.0.0)		
ファイル(<u>F</u>) 操作(<u>A</u>) ヘルプ(<u>H</u>)		
 PCI module 0 SCSI Enclosure Slot 1 Disk (Harddisk0-LUN1-PLEX1) Slot 2 Slot 3 PCI module 1 SCSI Enclosure Slot 1 Disk (Harddisk0-LUN1-PLEX0) Slot 2 Slot 3 	Name デバイスパスID 状態 詳細 ペンダー名 プロダクトID プロダクトID プロダクトID プロダクトIE プロダクトIE プロタクトIE プロタクトIE プロタクトIE デリイスパス[1] デバイスパス[2] アクティブPDRプレックス D- ドバランス 再同期の優先度 ステータス	Value 39/1 Simplex None Stratus Data Duplex LUN 4 9788cf8b-6792-4fc5-8bc8-e15aa50f5 68.37 GB Harddisk0 RDR Virtual Disk 1 11/40/1/0 Harddisk0-LUNT-PLEX0 On High Resync 0%